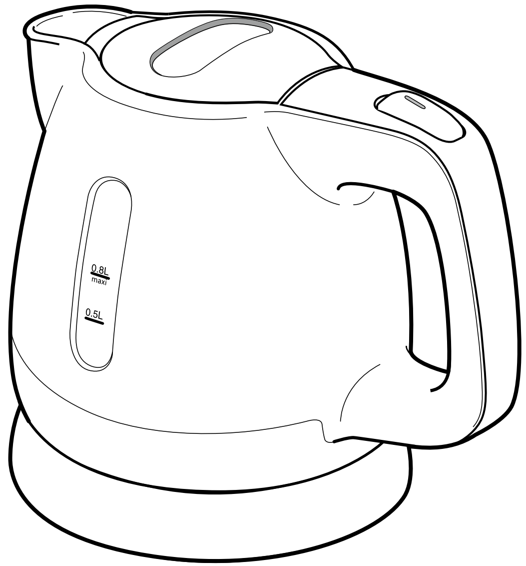
取扱説明書

T-fal

ティファール 電気ケトル

APRECIA+

アプレシア プラス　0.8L



Ref: NC00027762

BF805* / BI805*

はじめに

使い方

その他

- お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミューズビル
修理センター：〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2500

お客様相談センター　ナビダイヤル 0570-077772　受付時間：月～金 10:00～17:00（土･日･祝日を除く）

部品注文センター　ナビダイヤル 0570-086072　受付時間：月～金 10:00～17:00（土･日･祝日を除く）

※全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

*PHS､一部のIP電話など､ナビダイヤルをご利用できない場合は､誠に恐れ入りますが､こちらにお掛けください｡ 03-5789-1760

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 本製品は家庭用です。業務用または一般家庭以外での使用や取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます。

絵表示の例

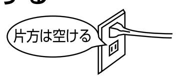
⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が表記されています。

● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が表記されています。

⚠ 警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

電源・コード

指示 **定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する**



他の機器と併用すると、発熱による火災や故障の原因になります。
- 延長コードも定格15Aのものを単独でお使いください。

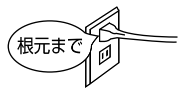
指示 **使用中、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する**

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社お客様相談センターまでご相談ください。

指示 **電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く**

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

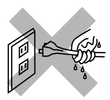
指示 **電源プラグは根元まで確実に差し込む**



差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
- 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

禁止 **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**

感電の原因になります。



禁止 **電源プラグや電源コードを破損するようなことはしない**

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

お取り扱い

分解禁止 **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しない**

発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。

禁止 **湯沸かし中は、ふたを開けたまま使用しない**

湯沸かし中は、確実にふたを閉めてください。湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。

禁止 **ふたを持ってケトル本体を移動しない**

湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。

禁止 **注ぎ口をふきんなどでふさがない**

湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。

禁止 **ケトルを傾けたり、ゆすったりしない**

湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。

禁止 **ケトル本体の底部や電源プレートを水につけたり、水に濡らしたりしない**

ショートしたり・感電するおそれがあります。

禁止 **直火(ガス台など)や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せない**

火災の原因になります。

禁止 **子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない**

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

禁止 **maxi(満水)目盛り以上の水を入れない**

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

禁止 **ケトルを転倒させない**

湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

⚠ 注意 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。

電源・コード

コンセントからはずす **使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く**

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

指示 **電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く**

感電したりショートしたりして、発火するおそれがあります。

安全上のご注意（続き）

お取り扱い

禁止　**不安定な場所や、熱に弱い敷物の上、可燃物の近く（カーテンの近くなど）では使わない**
火災の原因になります。

禁止　**専用の電源プレート以外は使わない。また、付属の電源プレートを他の機器に転用しない**
発火、故障の原因になります。

禁止　**沸かし中は、移動させない**
湯が流れ出たり、蒸気でやけどをするおそれがあります。

禁止　**湯沸かし中または湯沸かし直後は、ふたを開けたり、注ぎ口に触れたり、蒸気に手を近づけたりしない**
注ぎ口などから熱い蒸気が出て、やけどをするおそれがあります。

禁止　**牛乳を沸かす、紅茶を煮出す、スープを作るなど、湯沸かし以外の目的で使用しない**
ふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。

禁止　**電源プレート中央の接続部（金属部）にピンを差し込んだり、ゴミを付着させない**
感電、ショート、発火の原因になります。

禁止　**ストーブやガスコンロなど熱源のそばや直射日光が当たる場所では使わない**
本体のプラスチック部分が熱で損傷するおそれがあります。

指示　**コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、コードをひっかけないよう気をつける**
本体が落下し、やけどやけがをするおそれがあります。

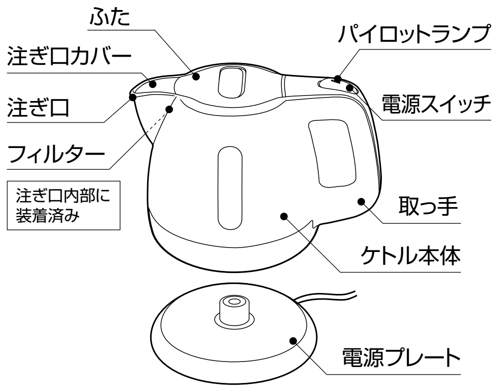
禁止　**壁や家具の近くで使わない**
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

禁止　**瓶やカップなど、水以外のものをケトルの中に入れない**
ふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。

使用上のご注意

- **ケトルに水が入っていないときは、スイッチをオンにしない**
  故障の原因になります。
- **ふたを開けた状態では、湯を沸かさない**
  本製品は、ふたを閉めた状態で湯を沸かす仕様になっています。
- **本製品に保温機能はついていません**
- **本製品は一般家庭用です**

各部の名称

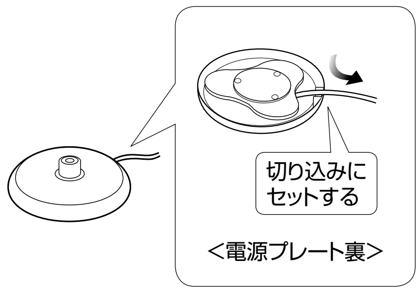


- 本製品は、ケトル本体と電源プレートのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れないと作動しません。
- 空だきをすると、本体内の安全装置が作動して、ヒーター部への通電が自動的に切れます。
- 注ぎ口カバーは、注ぎ口からほこりなどが入るのを防ぎます。

注意
- 注ぎ口にフィルターがきちんとセットされていることを確認してください。フィルターをセットしないと、お湯が沸いてもスイッチが切れない場合があります。
- 注ぎ口カバーはこわれやすいので、強くひっぱったり、曲げたりしないでください。破損するおそれがあります。

ご使用の前に

1 コードをセットする

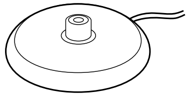


コードを電源プレート裏側に巻きつけて、長さを調節します。
電源プレートの切り込みにコードを確実にセットしてください。

お知らせ
- コードリールではありませんので、コードをひっぱって長さを調節することはできません。
- 電源プレートに巻き取れる長さは約90cmです。コードの長さは約130cmですので、約40cm余りますが、使用時に最低でも必要と思われる長さを残した仕様になっています。

ご使用の前に（続き）

❷ 電源プレートを置く

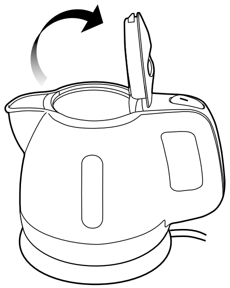


電源プレートは清潔で平らなところに置きます。

注意 付属の電源プレート以外は使用しないでください。

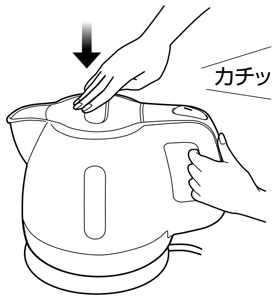
❸ ふたの開け方、閉め方

開け方



ケトル本体の取っ手を持って、ふたの手がかり部分にあるボタンを押しながら、注ぎ口側から取っ手側の方へ引き上げます。

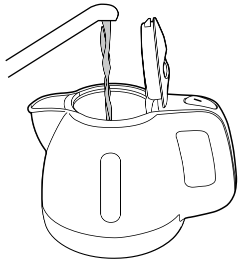
閉め方



ふたがカチッというまでしっかり上から押してください。

お湯の沸かし方

❶ ケトル本体に必要な量の水を入れ、ふたを閉める

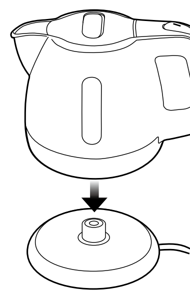


お知らせ　水量目盛りの一番下（0.5L）の線より少ない水量でも沸かすことができます。
ただし、水100ml以上（カップや湯のみ1杯分相当）でのご使用をお勧めしています。

注意

- 初めてケトルを使用する際は、念のため最初の2～3回はすすいでからご使用ください。
- 電源プレートの上に本体を載せた状態のまま水を注ぐことはおやめください。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは、水に含まれるミネラル成分がケトル内部に付着しやすくなります。
- 水を入れすぎると、ふきこぼれるおそれがありますので、maxi（満水）以上は水を入れないでください。また、水を入れないまま、空だきをしないでください。故障の原因になります。
- 水以外のものは沸かさないでください。ふきこぼれ、故障の原因になります。
- ふたがきちんと閉まっているのを確認してください。
  ふたがきちんと閉まっていないとお湯が沸いてもスイッチが切れない場合があります。

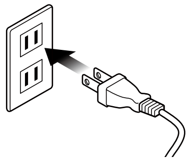
❷ ケトル本体を電源プレートに正しくセットする



電源プレートにセットする際は、ケトル本体が安定していることを確認してから手を離してください。

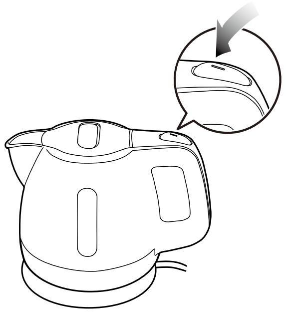
お湯の沸かし方（続き）

❸ 電源プレートのプラグをコンセントに差し込む



注意　定格15A･交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災、故障の原因になります。

❹ 電源を入れる



<電源スイッチを押す>

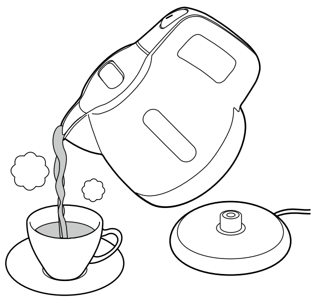
取っ手上部にある電源スイッチの上のほうを押して、電源を入れます。

注意　湯を沸かしている最中は絶対にふたを開けたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどをすることがあります。

お湯が沸とうすると電源スイッチは自動的に切れます。

- お湯が沸とうするまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。
- お湯が沸く前に電源を切る場合は、電源スイッチの下のほうを押してオフにしてください。

❺ お湯を注ぐ



沸とう状態がおさまってからお湯を注ぎます。

- 電源スイッチがオフになっていることを確認し、本体を電源プレートからはずしてお湯を注ぎます。注ぎ口カバーはお湯を注ぐと開きます。
- 注ぎ終わったときに、注ぎ口カバーが持ち上がっている場合は、軽く押してもとに戻し、ほこりなどが入らないようにしてください。
- ケトル本体を電源プレートに戻す際は、ケトル本体が安定していることを確認してから手を離してください。

お湯の沸かし方（続き）

注意

- 沸とう直後にふたを開けないでください。やけどをすることがあります。
- 本製品には給湯ロックの機能はついておりません。注ぎ口からは、常にお湯が出る状態ですので、扱いには十分にご注意ください。
- お湯を注ぐ際、急にケトル本体を傾けないでください。注ぎ口から湯が飛び出すおそれがあります。

お知らせ

- ケトル使用後しばらくすると、カチンッと音がすることがありますが、これは熱せられたプラスチックや金属部分が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。安心してお使いください。
- 電気ケトルは蒸気を感知してスイッチが切れる仕組みになっています。この蒸気が、取っ手下から水滴となって垂れることがありますが、故障ではありません。また、故障の原因になることもありませんので、安心してお使いください。

使い終わったら



- ご使用後は、水あかの付着をおさえるため、お湯を残さず、ケトル内部を空にしてください。
- ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お知らせ　連続して使用したあとは、個人差により取っ手と本体が熱く感じられる場合があります。

お手入れの方法

長期間清潔にご使用いただくためには、定期的にお手入れをしてください。

本体外側のお手入れ



本体が冷めるのを待ち、やわらかい布で拭いてください。
がんこな汚れには、ぬらした布に中性洗剤を含ませて擦り、拭き取ってください。

注意

- 必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってからお手入れをしてください。
- ケトル本体と電源プレートを水に浸けることは絶対におやめください。故障の原因になります。
- 磨き粉や金属タワシ、漂白剤などを使用しないでください。傷がついたり変色したりするおそれがあります。

注ぎ口カバーのお手入れ

1. ふたを開け、ケトル本体内側にある注ぎ口カバーの突起を押して、注ぎ口カバーを開けます。
2. やわらかい布で注ぎ口カバーを拭き、カバーを閉じます。

注意

- 注ぎ口カバーの取りはずしはできません。
- 注ぎ口カバーはこわれやすいので、取り扱いにはご注意ください。

フィルターの洗浄

フィルターのタブを持ってケトル本体からフィルターを引き抜き、水洗いしてください。
洗浄後は、乾かしてから、再度しっかり注ぎ口にセットします。

注意

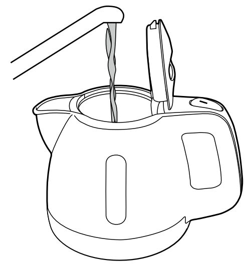
フィルターは必ずセットしてください。
フィルターをセットしないと、お湯が沸いてもスイッチが切れない場合があります。

お手入れの方法（続き）

本体内側のお手入れ

内側に汚れが目立ってきたら、定期的にお手入れをしてください。
なお、本体内側の汚れ（白い浮遊物、虹色などの変色、白いはん点、赤さび状のはん点など）は、水に本来含まれるミネラル成分の作用によるものです。
衛生上問題ありませんので、ご安心ください。

通常のお手入れ



水でよくすすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりと拭いてください。

汚れが落ちにくい場合ークエン酸を使って

1. 水をmaxi（満水）まで入れ、その中にクエン酸（15g程度）を入れて、かき混ぜます。
2. ふたを閉めて沸とうさせ、その後、約1時間放置します。
3. お湯を捨て、水で十分にすすぎます。
4. クエン酸のにおいが気になるようでしたら、水だけを入れて、再度通常どおり沸とうさせ、お湯を捨ててください。

注意

内側底部のステンレス部分をお手入れする際は、柔らかいスポンジをお使いください。また、ステンレス部分は強くこすらないでください。表面に傷がつくおそれがあります。

故障かなと思ったら

このようなとき	原因	対処方法
ケトルが作動しない、 または沸とう前に 止まってしまう	コンセントにプラグが 入っていない。	電源プレートのプラグを確実に コンセントに差しこんでください。
	空だきしたため、安全装置が作動して、ヒーター部への通電が自動的に切れた。	ケトル本体を電源プレートからはずし、熱を冷ましてから水を入れてください。
お湯を沸かすと プラスチックくさい。	プラスチック製電気製品（本製品）は、一般的にプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいが出ます。	においが気になる場合は、以下の手順でお手入れをしてください。 [重曹によるにおいの軽減の方法] 1. 水をmaxi（満水）まで入れ、その中に重曹（15g程度）を入れます。 2. よくかき混ぜて重曹を溶かします。 3. ふたを閉めて沸とうさせ、その後、半日（約12時間）放置します。 4. お湯を捨て、水で十分にすすぎます。
水が漏れる・ふき出す	maxi（満水）目盛より多く水が入っている。	水量をmaxi（満水）目盛以下に減らしてください。
	水以外の飲料が入っている。	水以外は沸かさないでください。

製品仕様

電気ケトル Aprecia Plus（アプレシア プラス）		
定格電圧		100V
周波数		50/60Hz
定格消費電力		1250W
最大容量		0.8L
質量（全体）		スカイブルー、カフェオレ、シュガーピンク、リーフグリーン：約750g
		メタリック ノワール、メタリック ホワイト、メタリック ルビーレッド：約890g
サイズ（全体）	幅	22.0cm
	奥行き	15.0cm
	高さ	18.0cm
コードの長さ		約1.3m

※仕様・デザイン・価格等は変更になることがあります。ご了承ください。
※本製品は日本国内のみで使用できます。
※本製品は中国製です。

愛情点検

●長年ご使用の電気ケトルの点検を！

こんな症状はありませんか？

●コード、電源プラグ、電源プレートに損傷が見られる。
●ご使用中にコードや電源プラグが異常に熱くなる。
●コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
●いつもより本体が異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
●本体から水が漏れる。
●その他の異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状が見られるときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずグループセブジャパンお客様相談センターに点検・修理をご相談ください。

株式会社 グループセブ ジャパン
本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミューズビル
修理センター：〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2500

お客様相談センター　ナビダイヤル® 0570-077772
受付時間：月～金 10:00～17:00（土・日・祝日を除く）

部品注文センター　ナビダイヤル® 0570-086072
受付時間：月～金 10:00～17:00（土・日・祝日を除く）
※全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

*PHS、一部のIP電話など、ナビダイヤルをご利用できない場合は、誠に恐れ入りますが、こちらにお掛けください。03-5789-1760